

あなたも わたしも 大切な ながさかっこ 聴き合っ 話し合っ ともに学ぼう !

ながさかっこ



ながさかしょうがっこう 長坂小学校 だより No.8 2023年10月発行 発行責任者: 校長 國分 孝明

10月の後半に入り、秋らしい日が続いています。先日行われた児童朝会で「〇〇の秋」というお話をしました。秋は気候が良く何をやるにでも良い時季です。その中の1つに「読書の秋」があります。最近ではスマートフォンや携帯ゲーム機の普及により子どもたちはSNSの動画や通信ゲームをする時間が長くなり、本を読むことが少なくなっているようです。動画を見る方が直接的に情報を得やすく楽しいと感じます。それに引き換え読書は、活字を追いながら挿絵を頼りに読み進めていくため、なんとなくしんどいイメージがあります。それならば、読書の素晴らしいところはこういったものがあるのでしょうか?調べてみるとこのようなものがありました。

- ① 語彙力や文章力が養われる
- ② 教養や知識が身につく
- ③ 仕事に役立つ知恵を得られる
- ④ 想像力が豊かになる

また、①~④の効果が複合的に働き「コミュニケーション能力が向上する」ということも書かれていました。くわしくは『読書のメリット』と検索してみてください。それぞれの項目について説明があり、読書の大切さを知ることができます。

長坂小学校では昨年に図書室をリニューアルし、子どもたちに読みやすい本をたくさん用意しています。休み時間や図書室の時間に本を借りて、お家で読む時間を15分ほどとってみるのはどうでしょうか。

おもちゃまつり!! (2年生)



2年生は生活科の学習で『うごくうごく わたしのおもちゃ』という単元があります。自分たちがつくりたいおもちゃをグループに分かれて工夫しながらつくりました。

また、毎年その単元でつくったおもちゃを1年生に楽しんでもらうために「おもちゃまつり」をしています。昨年自分たちもやってもらっているので、今度は自分たちがあげる番です。子どもたちは喜んで準備をしていました。1年生が楽しめるためにはどのようなふうがでできるか、友だちと話し合って役割を決め、練習を積み重ねて本番を迎えました。

当日、体育館に1年生を迎え、遊び方のルールなどを伝えていました。1年生もしっかりと説明を聞いて、笑顔でおもちゃで遊んでいました。2年生の子どもたちは

「1年生が楽しんでくれてよかった。」や「1年生が楽しんでくれたから2年生も楽しかったと思います。」「また、1年生に何かしてあげたい。」などとふりかえっていました。



↑1年生に一生懸命に教えています

くるま たいけん ねんせい 車いす体験 (4年生)

10月12日(木)に社会福祉法人水平会ホライズンの職員の方に来ていただき、車いす体験を行いました。事前学習として、障がいのある方や高齢者の方、けがをされた方など、自分自身の力で移動が困難な時に車いすを使用することを学びました。そして、車いすを使用した基本的な介助の仕方についても知り、当日をおかえました。

ホライズンからは9名もの方が来てくださり、体験中には様々なアドバイスを丁寧に教えていただきました。

普段何気なく歩いている建物の入り口や小さな段差も、車いすで乗り越えるには少しコツがいります。坂道もけがをしないように、車いすの介助の際には後ろ向きにゆっくりとおりにいくことが大切です。階段も子どもたちだけでは上げることがむずかしいので、大人に「助けてください。」「手伝ってください。」と声をかけている様子がみられました。また介助される側になって、介助者による事前の声かけがどれだけ安心するかということも実感できた様子でした。「次は段差をおります。」「もうすぐ坂をおりますよ。」「時間が経つにつれて、上手に声かけをしている姿が見られるようになりました。



終盤は質問にも答えていただきました。車いすの方の災害時の避難方法を聞いたり、お風呂用の車いすがあることを知ったりと驚きの連続でした。またホライズンの職員の方の、「利用者さんの笑顔を見た時にがんばろうと思える。」「大変なこともあるけれども『ありがとう』という言葉がうれしい。」という仕事に対する思いや、人とのつながりの温かさが心に残った子どもが多く、ふりかえりにもそのことをよく書いていました。

これからの社会は「共生の社会」をめざしており、多様性を認めていくことが重んじられていくこととなります。そのような中で、誰もが生きやすい社会にしていくために、どのようなことができるか、なにをしていくのかについて、これからも学んでいきたいと思えます。

マットの上はなかなか進みませんでした→

